

# きょうも おもてなし 日和



あけましておめでとうございます。

平成30年、新しい年の始まりです。皆様の一年が素晴らしい一年でありますよう、お祈り申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

今回は、新年の始まりに、うれしいことについて三題、思うことを書きます。

### ～新春三題～

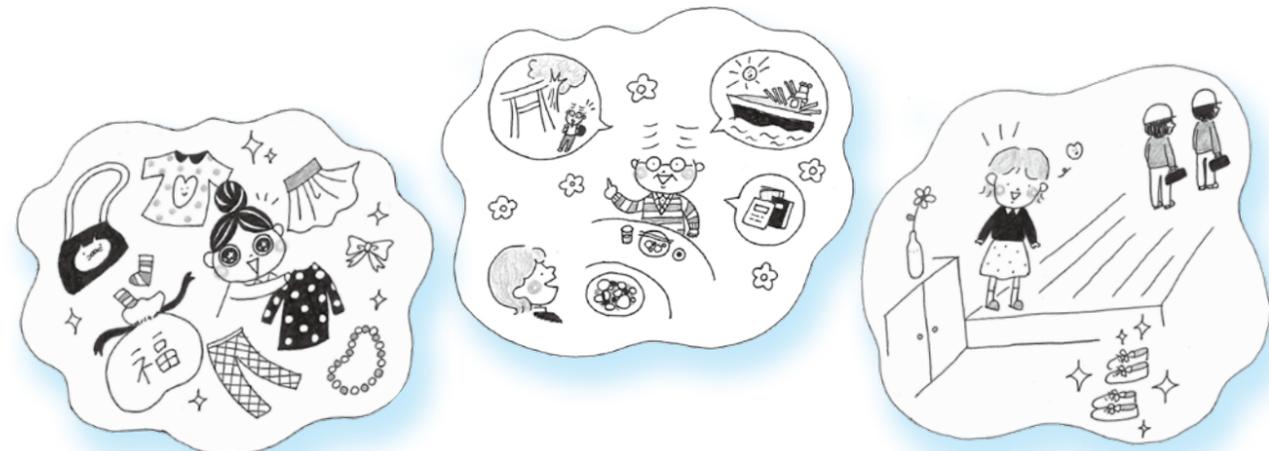
#### ◆その一「福袋」

お正月の風物詩、ネーミングがいいですね。福袋。福でいっぱい、福がたくさん詰まっている気がしま

す。だから、多くの人が先を競ってついつい買い求めてしまうのかもしれない。

中身がわからないミステリーな感じもいい。ひよっとしたら想像を超えた高額商品が入っているかも、中身は開けてからのお楽しみ……でしたが、近年は買う前から中身がわかるものや、買ったそばから開けて他の人の中身と交換の交渉をする人も出現しています。

時代の移り変わりとともに、ニュアンスが変化しているのを感じます。少し前までは、半分ご祝儀や運試しのような感覚で買うものではなかったかと思います。



イラスト★ささきさとみ (http://blog.goo.ne.jp/satomi343)

## Vol.7 新春、初よろこび三題

いずれにしても、射幸心を煽(あお)られます。かといって競馬のように損はしないし、宝くじのようにハズレ券もない。ささやかな幸せ、人と競わない幸せ、一人になったときにふとニンマリできる幸せを、福袋はもたらしてくれます。

福袋の歴史はそれほど古くはないようですが、近代・現代の私たちのニーズを確実にとらえています。

#### ◆その二「長寿」

長寿は、昔から多くの人の願いでした。

70歳を「古希(こき)」と呼びますが、「古来(こらい) 稀(まれ)なり」がその由来。稀だったので皆で祝ったのでしょう。いまや100歳

を越す方が6万人もいる時代です。70歳の稀度合いは、残念ですがほとんど感じられなくなりました。ですが、長く生きられるのならば、健康でいたいと願うもの。これも多くの人の思いです。

先日、高校時代の恩師と食事をしました。先生は数年前に古希を迎えました。退職後に勤めていた教育機関でのお仕事も昨年の3月に退職され、本当のリタイア生活を楽しんでいる様子でした。

東京駅そばの中華料理屋さんでの待ち合わせには一番乗り、にこにこして待っていてくださいました。旅行の話や太平洋戦争関連資料を研究していることなど、幅広く熱く、かつての生徒にとうとうと語ってくれました。

特に、戦艦大和の件は力が入っていました。そして、「早めに来て大量に買い込んだ」と言って、テイバックいっぱいの本をうれしそうに見せてくれました。

埼玉に住んでいる先生に、東京駅から帰りますか?と尋ねると、「いや、今日はこういう企画切符で来ていてね」とメトロの周遊切符をみせられました。だから京橋から乗ると言って、颯爽(さつそう)と東京駅とは反対方向のJRのガード下へ向かって帰って行きました。

後ろ姿を見送りながら、うれしいという気持ちとともに、「やられたな」と思わずにはいられませんでした。

長寿の肝(きも)はなんだろう?健康に生きるとはどういうことなの

か、先生の後ろ姿に考えました。

元氣な先生ですが、数年前にすい臓の手術をしていました。お酒と炭水化物を控えて、現在は調子は良好とのこと。ややもすると身体的なことに目が行きがちですが、頭を鍛えることも健康には必要だとまざまざと思い知らされました。

知識欲といえいいのか、好奇心を持ち続けることや関心のあることに正直であること、時間やお金の使い方、ありのままにしていることの清々しさ。先生はいまでも多くのことを教えてください。

#### ◆その三「プロの矜持」

マンションでの水道管排水管の点検交換に来た作業員さんたち、彼らが帰った後もしばらくうれしい余韻がありました。

イケメンであることは置いておいても、あいさつがよい、身だしなみがよい、受け答えがよい。非の打ちどころがないといったら言いすぎでしょうか。久しぶりに爽やかな人に出会いました。

作業手順の説明も簡潔、「台所と浴室を点検して交換するので、15分くらいです」。最後には、今回の点検範囲ではないけれど、キッチンの浄水器の元の部分が湿っているのを見つけて「パッキンが緩んできていると思われるので、一度見てもらったほうがいいでしょう」とアドバイスをしてくれました。

漏れた水が下の階に伝わってしまうと集合住宅では思わぬトラブルになる。「そうだ、すぐに交換だ!」と、素直に聞き入れることができました。親切でしかもプロとしての視点での的確な指摘に、うっとりしました。

作業員さんのなかには、玄関での脱ぎ着に便利のように靴のかかとを潰して履いている人もいますが、そうしたこともなくきちんと傍(かたわ)らに揃えて室内に入る様子も好感度を上げました。

彼らを数日前、1階のエントランス付近で見かけていました。また、同じエレベーターに乗り合わせたこともあって、そのときから感じのよい人たちだと思っていました。

朝は元氣にあいさつがあり、エレベーターでは住人ファーストに努めて気を遣っている感じが伝わってきました。その日は台風の影響で風が強かったため、「こういう日の作業はやりづらいでしょう?」と尋ねると、「そうなんです、こちらでは屋内で行えるので助かっています。ありがとうございます」と頼もしい返事がありました。

私の研修を受けてくださった方々を思い出しながら、研修の成果がこのようなかたちで現れるといいな、と思いました。自分自身に磨きをかけて今年も研修に励みたいと思いました。

**川崎 美紀** (かわさき みき) オフィスリバー 研修講師 <http://www.officeriver.biz>

国際線キャビンアテンダントとして10年乗務、2005年JALアカデミーのインストラクターとなる。同時に個人事務所・オフィスリバーを立ち上げ、2012年独立。2015年日本キャリア開発協会認定キャリアディベロップメントアドバイザー(CDA)の資格を取得。主に企業を対象に、ニーズに応じた研修を提案し提供。近年はビルメンテナンス・警備・ホテル・金融機関など各業界での研修実績を持つ。今年度、ビルクリーニングカレッジでは「おもてなしマナー」トレーナー講習を担当している。

